

広島県行政デジタル化推進アクションプランの令和7年度までの取組について

1 要旨・目的

令和6年2月に改定し、取組を実施している「広島県行政デジタル化推進アクションプラン」の令和7年度までの状況について報告する。

2 概要

(1) 計画期間

令和6年度から令和8年10月まで（7か月間延長）
 ※上位計画である「安心▷誇り▷挑戦ひろしまビジョン」の改定時期を踏まえたもの。

(2) 取組の方向

県庁DXの最終ゴールである「フレンドリー県庁」の実現に向け、これまで取り組んできたデジタル化の取組を加速し、デジタルライゼーションやDXにより、県民及び職員がデジタル化の恩恵を「実感」できるよう取り組む。

(3) 根拠法令

官民データ活用推進基本法（平成28（2016）年法律第103号）第9条

3 取組内容

課題の生じている局面ごとにプロジェクトを実施し、各プロジェクトにおいては、新技術へのチャレンジも掛け合わせ、既存施策の更なる進化・深化と新たな施策の展開により、「実感」へとつなげていく。

(1) プロジェクト1：誰もがいつでもどこでも楽々手続 便利さ「実感」！

県民等が県に対して手続等を行う局面における県民等の負担軽減、利便性向上に向け、取組を実施している。

【達成状況等】

「申請のための申請」等を行っている手続を洗い出し、県内部での連携により納税証明書の提出を不要とするとともに、モデルケースとして活用し、他の手続においても提出を不要とするように取り組んでいる。

実感ポイント	指標	水 準		実 績	R7年度末 評価
		プラン 策定時	令和 7年度末		
手続添付書類等の簡素化	申請のための申請の廃止等、簡素化した数	0手続	15手続	納税証明書の添付省略等 15手続	達成
データでの許認可通知等の受領	電子署名の実装	—	実装、運用	運用開始(R8.3)	達成
オンライン申請の使いやすさ向上	電子申請システム利用者の満足度向上	満足率 59%	満足率 70%	満足率 80%(R7)	達成
デジタル活用への不安解消	スマートフォン講習会等の開催(市町)	全市町開催	全市町開催	全市町開催	達成
キャッシュレス決済導入の拡大	キャッシュレス決済可能手続数	25手続	64手続	・導入済み 31手続 ・準備中(年度内に運用開始見込み) 18手続 ・国によるオンライン化に委ねるもの 14手続 ※手続の廃止 1手続	未達

(2) プロジェクト2：スムーズ処理で効率化「実感」！

県が実行・発信する局面における効率化、サービス向上に向け、取組を実施している。

【達成状況等】

- デジタルによる内部での一気通貫手続について、RPAを活用した定例的業務の自動化、申請後の入力作業の省力化などに取り組み、目標を達成した。
- 県保有データについて、県民等にとって使いやすい形で積極的に公開したことにより、ダウンロード数が大きく伸びるなど活用が図られている。

実感ポイント	指標	水準		実績	R7年度末評価
		プラン策定時	令和7年度末		
手続処理の効率化、時間短縮	デジタル一気通貫手続数	—	15手続	データの財務会計システムへの取り込み等16手続	達成
	RPAを活用した業務改善による処理短縮時間	—	各年1,500時間	新たにRPAを導入し約1,700時間短縮(R7)	達成
デジタル活用による現地対応等改善	アナログ規制の見直し(方針策定、見直し)	—	策定 随時改定	方針策定、一括改正を実施(R6)	達成
活用しやすいデータの充実	データサイト活用状況 ダウンロード数/月	27,000回 (1,100データ)	33,000回 (1,300データ)	93,600回 (1,445データ)(R7)	達成
データ利活用のスキル充実	データ分析のための研修の受講状況	—	各年100人	141人(R7)	達成

(3) プロジェクト3：デジタル環境のアップデートで デジタル効果「実感」！

デジタル効果の発揮に向け、基盤となる県庁におけるデジタル環境の改善のため、取組を実施している。

【達成状況等】

- デジタル技術の進展に即して、職員のワークスタイルや所管業務に応じた端末や通信環境が整備、活用され、円滑に業務が実施できている。
- 情報システム人材育成プランに基づき、デジタルスキルの評価の可視化を行うとともに、県・市町共同で人材を採用、育成、活用する「DXShipひろしま」の枠組みにより、情報システム人材を各市町へ配属している。

実感ポイント	指標	水準		実績	R7年度末評価
		プラン策定時	令和7年度末		
デジタル環境の改善	業務で利用するデバイス機器の満足度	47.5%	左記数値からの上昇	機能・メンテナンス性が向上した職員用端末の調達などの改善 73.3%(R7)	達成
業務のデジタルシフトの拡大	紙の購入状況	R2年度 約3,630万枚	約1,815万枚	1,552万枚	達成
デジタル技術を活用できる人材の充実	職員の研修受講状況	累計 2,000人	累計 4,000人	一般研修等を通じ5,749人	達成
	情報システム人材の応用情報技術者試験等の合格者	40%	75%以上	75.5%	達成
	上記人材の育成の仕組み構築状況	市町と一体で整理中	DXShipにより確立	19市町が参画 16市町に20人配属(R8.5)	達成
システムの全体最適化の進展	具体的方針の策定	—	策定の上、活用	システム連携の在り方、セキュリティ面の具体的方針を策定	達成
	方針によりデジタル部門で関与したシステム数	—	5件	基幹系システムを中心に構築段階から支援を実施13件	達成
行政のシステムの安定稼働	インシデント発生状況	0件	0件	0件	達成
	セキュリティ検証、運用評価	—	計画的に実施	セキュリティ監査を予定どおり実施	達成

4 今後の取組

- デジタル化は一定程度進捗しているが、個々の局面に留まっているため、県民のデジタル化の恩恵の「実感」に繋がるよう、引き続き、業務全体のデジタル化を進め、これまでの取組で得られた事例を横展開するとともに、県民視点での業務プロセスの見直しを実施していく。
- 急速な進化をとげるA I技術の動向なども踏まえながら県庁全体での活用策を探るとともに、行政の効率化と県民サービス向上に繋げていけるよう、新たなプラン策定を進める。

5 その他（関連情報等）

- 広島県行政デジタル化推進アクションプラン
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/265/digital-actionplan.html>